

Happy the 100th Anniversary of our station's

ありがとう、これからも。 ～生山駅と上石見駅がもうすぐ開業 100 年を迎えます～



◆昭和30年代前半頃

生山大火（昭和28年）から復興後の生山駅周辺の街並みの様子。
駅前にはボンネットバスや高く積まれた線路の枕木が確認できる。



◆昭和47年（1972年10月2日）

昭和47年の秋のダイヤ改正により生山駅に特急列車やくも号が停車するようになり、京阪神方面への移動時間が大幅に短縮しました。



近年、全国的に様々な地域で既存のローカル路線の廃止に関する検討が行われる中で、生山駅・上石見駅についてもこの例外ではなく、生山駅の乗降者数は15年前と比較し約半分にまで減少しているのが現状です。

両駅の100周年に向けて、記念事業のための実行委員会が立ち上げられ、今年度から来年度まで継続して事業を行います。

実行委員会では、一過性の大きなイベントに終始せず、従来のイベントを本事業とタイアップさせながら、両駅の認知度の向上と利用促進を目標にして、まちの活性化につながるよう、今後様々な事業を行っていきます。

みなさん一緒になって、この歴史的な瞬間を祝い、次の世代へとつなげていきたいと思います。



この文章は、8月7日から8月10日まで日南町役場でのインターンシップに参加した、島根県立大学の松本明日斗さんが作成したものを、一部加除・修正して掲載しました。

岡山方面からの伯備線利用者にとって、山陰の玄関口となる生山・上石見の両駅が、もうすぐ開業100周年を迎えます。

今年の11月28日に開業100周年を迎える生山駅は、普段通勤や通学に利用されるだけでなく、特急列車やくも号が停車する駅として、日南町のみならず近隣市町の多くの利用者に欠かせない拠点となっています。

また、近年ではクルーズトレイン・ウエストエクスプレッス銀河の停車場所としても知られ、日南町の顔とも言える駅となっています。

上石見駅は、来年12月6日に開業100周年を迎えます。伯備線で一番標高の高い場所に立地しており、「にちなん高原の駅」の愛称で親しまれ、地元のみならず、シニア・ボルの存在となっています。

特設サイトを開設

今後、100周年事業に関する様々な情報を特設サイトで公開していきます。
みなさんぜひご覧いただき、一緒に事業を盛り上げ、町民みんなで駅の利用促進につなげていきましょう！

特設サイトURL
<https://nichinan-cho/100th-station/>



QRコードはこちら

◆各種イベント

8月21日に生山駅で「開業100周年100日前イベント」を実施し、生山駅の開業当初に駅舎で使用されていた柱時計が、現所有者の方のご好意により設置されました。

今後も、町内の各種イベントとタイアップしながら、10月28日・29日に開催予定の「にちなんふる里まつり」から開業日である11月28日までの約1ヶ月間を重点期間として、趣向を凝らしたイベントを実行委員会の専門部会で計画中です。

詳細が決まり次第、特設ホームページや広報などで順次お知らせします。

〈今後の主な関連イベント〉

- ・9月3日(日) フッペルピアノコンサート
- ・10月29日(日) にちなんふる里まつり (ミニサンライズ号の運行・子ども 制服体験)
- ・11月4日(土) 日野上イチョウおもてなしイベント
～11月19日(日)
- ・11月28日(火) 生山駅開業 100 年当日セレモニー

※イベントの追加・変更等につきましては、左記の特設ホームページで順次更新し、お知らせします。

◆記念グッズ

現在、開業100周年記念グッズとして、ポロシャツや記念券、缶バッジ、サンバイザーなどを山里Loadにちなんで販売しており、今後もさまざまな商品を企画中です。

記念グッズとあわせて、今後も多くの方に喜ばれる日南町自慢のお菓子を開発したいとの意見から、かつて生山地内で販売されていたお菓子の復刻について準備を進めています。

同時に、道の駅にちなん日野川の郷の指定管理者である(株)サクセスが主体となり、伯備線にちなんだお菓子の開発を行っており、JR 西日本と協議し、JR の販売網を活用した新たな定番商品の開発を計画しています。

どちらも、今年の「にちなんふる里まつり」において試作品のお披露目ができるよう準備を進めています。

みなさんお楽しみにお待ちください。

【グッズ販売についての問合せ】

山里Loadにちなん TEL：82-1715

